

## 1. 報告要旨

2025 年度の研究活動により判明した汚染実態は以下の通りであった。

- 1)雄物川水系では秋田市水道水から 4 年連続で EU の総農薬基準(500ppt)以上のネオニコチノイド系農薬ジノテフランが検出され汚染が慢性化していることが明らかとなった。単一農薬のネオニコチノイド系農薬の最高値は、秋田市水道水(令和 7 年 8 月 15 日)のジノテフラン濃度 2650ng/L(ppt)(2023 年 8 月 16 日の 3015 に次いで 2 番目に高濃度)、次いで同地点翌日(8 月 16 日)のジノテフラン 1920ng/L(ppt)で、単一農薬 100ng/L(ppt)を超えた試料は 11 試料で、19 試料中 57.9%であった。
- 2) 水道水は測定 18 地区のうち 11 地区で EU の水道水中の単一農薬基準 100 ng/L を超え、うちジノテフラン濃度が 10 地点、チアトキサム濃度が 1 地点であった。
- 3) 100 ng/L 超えた水道水のうち原水が河川水は 4 試料 3 地点、浅井戸地下水が 4 試料 2 地点、深井戸地下水が 3 試料 2 地点で、表流水のみならず地下水を水源とする水道水中にも高濃度のネオニコチノイドが含まれている実態が明らかとなった。
- 4) モニタリング開始後 100 サンプル目にして、ようやく 1 種類もネオニコチノイド系農薬が検出されない水道水試料が確認された。その他は全ての試料から 1 種以上のネオニコチノイド系農薬が検出された。

また広報・社会訴求部門ではつどいを 2 回、木村-黒田純子先生、山室真澄先生を秋田に招きご講演と活動報告(測定結果の速報と実態解説)を実施するとともに、大館市の映画館・御成座にて「静かな汚染ネオニコチノイド」DVD 上映会&出前授業を開催。これまで雄物川水域をメインに活動してきたため、県北での開催は初。動員数が不安だったが現地の「PFAS と市民の健康を考える会」と共催という形を取ったことで、チラシ配りも 400 枚以上、現地での宣伝も積極的に行ってくれた。結果、60 名以上の参加があり、昨年度の学習会(参加者 10 名程度~)からみると、一度の開催で数回分にあたる多くの方々に秋田県の水の現状を伝えることができた。PFAS は自治体も市民もメディアも取り上げやすいので、動きやすくなることを実感した。同時に、県北の方々の環境への関心の高さや想いの熱に触れて、今後の活動への糧となった。

ホームページ、Facebook グループ等での広報活動は、前半に Facebook グループでの投稿を得意としていたメンバーが一人脱退し投稿が滞りがちになったが、後半に新ホームページ作成や Instagram を開設。Instagram については新メンバーが自主的に担当。そういったやる気に弊会のムードも刷新された。

本年度は前年度以上に近藤代表に各所、学会から要請があり、ネオニコ汚染調査の説明の機会をいただいた。秋田の水道水汚染が秋田県内よりも県外において重要視され、弊会の活動が響いていることを実感した。

活動当初からの課題である「農業の大規模化で農薬の依存度を強めている現実をまずは秋田県民がしっかり共有すること」を目標に、引き続き全市町村での学習会の実施を目標に取り組みを続けます。実態解明を力に、安全な食と農で多くの命と子ども達をまもるための思いを一つにし、連帯、参画することを、県民と自治体に広めます。



【2025-8-17】オーガニックフェスタ参加



【2025-9-2】秋田市長との面談

## 2. 成果物

1. 近藤正講演「[秋田にオーガニック給食が必要な訳 農薬汚染の研究と学習活動から](#)」(2025.5.31)
2. 秋田市役所にて市長と面談(2025.9.2)
3. 発表「[秋田県雄物川流域のネオニコチノイド系農薬濃度と流達負荷量について](#)」農業農村工学会大会講演会(2025.9.3)
4. ポスター発表「[秋田県の主要河川におけるネオニコチノイド系農薬の流出特性について](#)」水文・水資源学会2025年度研究発表会(2025.9.18)
5. ネオニコ、PFAS 調査について県議会議員に報告(2025.9.24)
6. CNA 秋田ケーブルテレビ「しーなちゃん」講演会告知(2025.10.16)
7. 木村-黒田純子氏講演会「[地球環境を守り持続可能な農業を目指して](#)」(2025.10.19)
8. 山室真澄氏講演会「[水圏における浸透性殺虫剤汚染](#)」(2025.12.6)
9. 近藤正講演「[秋田の農業水域における水質汚染の実態から秋田の未来を考える](#)」秋田県有機農業推進協議会(2026.1.31)
10. DVD 上映会 & 出前授業「[秋田県の水の汚染について](#)」(2026.3.14)
11. 令和7年度「[ネオニコチノイド系農薬汚染調査](#)」結果報告(2026.3)